

『情緒障害』『ダウン症』『不登校』に関する調査

この度は調査へのご協力ありがとうございます。

- この調査は、「(A) 情緒障害」「(B)ダウン症」「(C)不登校」の生徒に関する実態・支援について調べることを目的としたものです。
- 調査対象者は、**【知的障害部門】の高騰部の主任(主事)の先生**です。
- 正しい答え・間違った答えなどはございませんので、ご回答される先生の思った通りにお答えください。
- 本調査は統計処理をするので個人が特定・公表されることは一切ありません。また、結果につきましても、学術的な目的以外に使用いたしません。
- それぞれの質問をよく読み、該当する番号に○、または空欄に必要事項を記入してお答え下さい。
ご回答もれないようお願いいたします。 東京学芸大学・橋本創一

【フェイスシート】 ご回答される先生についてお答えください。

- (1) 教員勤務年数をご記入ください。(_____ 年)
- (2) 高等部全体の生徒数をご記入ください。(_____ 名)

調査 (A) 情緒障害のある生徒に関する質問

【情緒障害のイメージに関する質問】

情緒障害とは医学的な診断名ではなく、明確な診断基準がなく症状から情緒障害と判断されるケースが多いです。情緒障害の症状は発達障害、知的障害、精神疾患にみられる症状と類似ものも多いといわれています。その背景を踏まえ、先生のお考えで構いませんので、以下の質問にお答えください。

- ①「情緒障害」と聞くと、どのような状態を指す言葉か明確にイメージができますか。(最も近いもの1つに○)
明確にイメージできない ・ あまりイメージできない ・ 何となくイメージできる ・ 明確にイメージできる

☆「明確にイメージできない」「あまりイメージできない」場合、その理由をご記入ください。

☆「何となくイメージできる」「明確にイメージできる」場合、先生のイメージする情緒障害の状態像について具体的にご記入ください。

②情緒障害とその他の障害（発達障害、知的障害、精神疾患）にはイメージとして違いがあると思いますか。（最も近いもの1つに○）

全く違う ・ 似ているがやや違う ・ ほぼ同じ ・ 同じ

☆「全く違う」「似ているがやや違う」と回答された方に質問です。

情緒障害とその他の障害（発達障害、知的障害、精神疾患）にはどのようにイメージに違いがあると思いますか。

③ これまでの回答を踏まえ、現在、高等部で情緒障害だと感じる生徒は何人いますか？

（____）名

【情緒障害のある生徒に関する質問】

本研究における情緒障害を『周囲の環境から受けるストレスによって生じたストレス反応として、状況に合わない心身の状態が持続し、それらを自分の意思ではコントロールできないことが継続している状態がある者（発達障害がある場合もあれば、必ずしも障害とは限らない）』と定義します。

以下の質問では、現在高等部にいる情緒障害のある生徒、または過去に担当した情緒障害のある生徒のうち、特に印象に残っている者 1名（以下、対象児）を思い浮かべて、対象児について回答してください。

(1)対象児のプロフィール

①対象児の学年 （ ）年生 ※あてはまるものに○→ 現在高等部に在籍 ・ 過去に担当した

②対象児の性別（あてはまるものに○） 男 ・ 女 ・ その他

③対象児の医学的診断（どちらかに○） あり ・ なし

<ありの場合> あてはまるものすべてに○をしてください。重複の場合、主たる障害を二重に囲んでください。

知的障害 ・ 自閉スペクトラム症 ・ ADHD ・ ダウン症 ・ 視覚障害 ・ 聴覚障害 ・

言語障害 ・ その他（名称： _____）

精神疾患（名称： _____） ・ 身体疾患（名称： _____）

④服薬の有無（あてはまるものに○） あり ・ なし ・ 不明

(2)対象児の様子について

①学校での生活において、対象児の最も気になる行動や問題を 1つ選んで番号に○をしてください。

1. 場面かん黙	10. 過度に他人に甘える
2. 不登校・登校しぶり	11. 身体愁訴（腹痛、頭痛など）の訴え
3. 過度の不安	12. 拒食
4. 抑うつ症状	13. 強迫行動（何度も手を洗うなど）
5. 無気力	14. 抜毛・性器いじり
6. 自傷行為	15. 被害妄想の主張
7. かんしゃく・怒りの頻発	16. ゲーム依存

8. 暴力・身体的な攻撃行動	17. 排尿の失敗
9. 言葉による反抗・暴言	18. その他（ ）

☆上記で回答した症状が引き起こされる要因（原因）にはどのようなものがあると考えていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 家庭環境の不安定さ	6. 教師との人間関係の問題
2. 知的障害や発達障害などの障害特性	7. 授業中の学習活動になじまない
3. 学校の環境	8. 学年・学校の行事（イベントなど）
4. 生活習慣の乱れ	9. 部活動
5. 生徒同士の人間関係の問題	10. 習い事・塾

☆上記で回答した要因（原因）について具体的な内容を教えてください。

(例：①→虐待の疑いがあり、不適切な養育がストレスとなり症状を生じさせている可能性がある。)
--

② ①で選択した“最も気になる症状”について、学校生活での様々な場面における症状の**強さ**と症状が生じる**頻度**をお答えください。強さ（上段）と頻度（下段）、それぞれ**最もあてはまるもの1つ**に○をしてください。

登校時	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
授業中全般	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
対象児が苦手な科目の授業	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
特定の科目の授業中	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
休み時間	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
給食の時間	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
集会などの集団活動時	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
運動会などの行事	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
下校時	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
放課後の活動	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない

(3)対象児の支援ニーズ及び支援方法について

① (2)①で回答した“最も気になる症状”が、学校生活において対象児にどのような課題（支援ニーズ）をもたらしていると思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 日々の学習の遅れが生じている	7. 生活リズムが整わない
2. 学校の活動について意欲が低下している	8. 身の辺の自立ができない
3. 集団活動を行うことが出来ない	9. ルールを守ることが出来ない
4. 他者と安定した対人関係が築けない	10. 非行といった深刻な問題を生じさせている
5. 主体的なコミュニケーションをとることが出来ない	11. 自己肯定感の低下
6. 学校内で孤立している	12. その他（ ）

②対象児の抱える支援ニーズについて日ごろどのような支援を行っていますか？

③これまでの支援のなかで、効果のあった*支援方法と、その支援によって児童の様子がどのように変わったのか教えてください。（※気になる症状を改善させたり、緩和させたりすることができた支援）

(4)情緒障害のある生徒の支援の困難さについて

対象児への支援全般に関して、ご回答される先生の考えをお答えください。

①対象児の情緒障害の症状を理解して、適切に支援することに対する「困難さ」はどの程度ですか。最も近いものに○をしてください。

全く困難ではない ・ それほど困難ではない ・ どちらともいえない ・ やや困難である ・ 非常に困難である

②対象児への支援に対する「不安感」はどの程度ありますか。最も近いものに○をしてください。

全く不安はない ・ それほど不安はない ・ どちらともいえない ・ やや不安である ・ 非常に不安である

③情緒障害のある生徒の支援に対して困難さや不安がある場合、本生徒の支援において困難さや不安感を生じさせる要因にはどのようなものがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 他の生徒の支援との両立ができない	6. 支援の効果がなかなか見られない
2. 支援方法が分からない	7. 専門家と連携が取れない
3. 支援するための時間的、物理的余裕がない	8. 生徒について相談する相手がいない
4. 保護者と連携ができない	9. 情緒障害が曖昧な概念で実態がつかめない
5. 情緒障害児を支援するための環境が整っていない	10. その他（ ）

④情緒障害児の支援について、どのようなサポートがあれば、困難感や不安感が減ると思いますか。

(例：専門家とつながる機会がもっと欲しい)

調査（B）ダウン症のある生徒に関する質問

【ダウン症のある人にみられる『急激退行(精神的不調)』に関する質問】

『急激退行』とは医学的な診断名ではなく、青年期以降のダウン症者の一部に、生活環境の変化を契機に、日常生活能力が短期間に低下するもので、「認知症」「うつ状態」に類似した症状が現れます。しかし、これらとは異なる病態であるとされています(日本小児遺伝学会)。詳細は、まだ明らかになっていません。こうした背景を踏まえ、先生のお考えで構いませんので、以下の質問にお答えください。

① 現在、貴校の高等部に在籍するダウン症のある生徒は何人いますか？ () 名

以下の質問では、現在高等部にいる**精神的不調や行動・能力の低下がみられるダウン症のある生徒**（過去に担当した生徒でも構いません）**1名**（以下、対象児Bさん）を思い浮かべてご回答ください。

(1)対象児（Bさん）のプロフィール

①対象児の学年 () 年生 ※あてはまるものに○→ **現在高等部に在籍** ・過去に担当した

②対象児の性別（あてはまるものに○） **男** ・ **女** ・ **その他**

③対象児の医学的診断：**あてはまるものすべてに○**をしてください。

知的障害 ・ **自閉スペクトラム症** ・ **ADHD** ・ **その他** (名称：)
精神疾患 (名称：) ・ **身体疾患** (名称：)

④服薬の有無（あてはまるものに○） **あり** ・ **なし** ・ **不明**

(2)対象児（Bさん）の様子について

①学校での生活において、対象児の気になる行動や問題であてはまる番号に○印をつけください。

<※以前と比べて、減少・低下などが現れているものとする>

1. 動作緩慢（以前に比して緩慢）	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある
2. 乏しい表情	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある
3. 会話・発話の減少	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある
4. 対人関係において反応が乏しい	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある
5. 興味消失（以前に比して減少）	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある
6. 閉じこもり（外出したがない）	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある
7. 睡眠障害（睡眠リズムの乱れ）	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある
8. 食欲不振	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある
9. 体重減少	なし	・	少しある	・	顕著にある	/	以前からある

☆上記で回答した症状が引き起こされる要因（原因）にはどのようなものがあると考えられていますか。

あてはまるものすべてに○をしてください。(複数回答可)

1. 疾患(精神・身体疾患)	6. 他生徒との人間関係(トラブル・仲良しが不在)
2. 家庭環境の不安定さ・変化	7. 教師との人間関係(愛着・指導など)
3. 知的障害や発達障害などの障害特性	8. 授業中の学習活動になじまない
4. 学校学級の変更やその変化(進級・クラス編制)	9. 学年・学校の行事(イベントなど)
5. 生活習慣の乱れ	10. その他〔 〕

☆上記で回答した要因(原因)について具体的な内容を教えてください。

(例: 2. → 姉が就職で転出した。同居する祖父が逝去した。そうしたことがストレスとなった可能性がある。)

② ①で選択した“気になる行動や問題”について、学校生活での様々な場面における症状の強さと症状が生じる頻度をお答えください。強さ(上段)と頻度(下段)、それぞれ最もあてはまるもの1つに○をしてください。

登校時	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
授業中全般	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
対象児が苦手な科目の授業	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
特定の科目の授業中	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
休み時間	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
給食の時間	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
集会などの集団活動時	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
運動会などの行事	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない
下校時	とても強い ・ 強い ・ それほど強くない ・ 強くない
	非常に生じる ・ やや生じる ・ 時々生じる ・ 全く生じない

(3) 対象児(Bさん)の支援ニーズ及び支援方法について

① (2)①で回答した“気になる行動や問題”が、学校生活において対象児にどのような課題(支援ニーズ)をもたらしていると思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。(複数回答可)

1. 日々の学習の遅れが生じている	7. 生活リズムが整わない
2. 学校の活動について意欲が低下している	8. 身辺の自立ができない
3. 集団活動を行うことが出来ない	9. ルールを守ることが出来ない
4. 他者と安定した対人関係が築けない	10. 自己肯定感の低下
5. 学校内で孤立している	11. その他()

②対象児（Bさん）の抱える支援ニーズについて日ごろどのような支援を行っていますか？

③これまでの効果のあった*支援方法と、その支援によって対象児（Bさん）の様子がどのように変わったのか教えてください。（※気になる行動や問題を改善させたり、緩和させたりすることができた支援）

調査（C）不登校・不登校傾向の生徒に関する質問

不登校(週1日程の理由が不明確な欠席、年間30日以上欠席が予測される)、不登校傾向(休みがちで登校しぶりがある)の生徒についてお聞きします。

(1) 貴校の高等部に不登校や不登校傾向の生徒はいますか？（いる場合は人数もお答えください）

①いない ②不登校生徒がいる（ ____ 名） ③不登校傾向の生徒がいる（ ____ 名）

(2) 不登校・不登校傾向のある生徒のなかで、障害・病気の診断がある者はいますか？（複数回答）

もしもいる場合は人数もお書きください。

- ①診断なし（ ____ 名） ②自閉スペクトラム症（ ____ 名） ③LD（ ____ 名） ④ADHD（ ____ 名）
⑤知的障害（ ____ 名） ⑥肢体不自由（ ____ 名） ⑦言語障害（ ____ 名） ⑧視覚障害（ ____ 名）
⑨聴覚障害（ ____ 名） ⑩場面緘黙（ ____ 名） ⑪起立性調節障害（ ____ 名）
⑫精神疾患（ ____ 名）〔病名： _____ 〕 ⑬身体疾患（ ____ 名）〔病名： _____ 〕
⑭アレルギー疾患（ ____ 名） ⑮その他（ ____ 名）〔具体的に： _____ 〕

(3) 不登校・不登校傾向の生徒のなかで1名を一人思い浮かべてください。その生徒（Cさん）にみられる行動で、あてはまるものに○印をつけてください。ただし、該当児がいない場合は未回答で結構です。

〈選択肢〉					
	4：とてもあてはまる				
	3：ややあてはまる				
	2：あまりあてはまらない				
	1：全くあてはまらない				
a	友だち関係がうまくない（トラブルや苦手な友だちがいる）	4	3	2	1
b	教師とのコミュニケーションが苦手である	4	3	2	1
c	学習内容の理解が難しいことが多い	4	3	2	1
d	生活リズムが乱れている	4	3	2	1
e	遅刻や早退が多い	4	3	2	1

